

刊夕 日七月六

常磐每日新聞

定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元

発行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇

印刷所 常磐毎日印刷株式会社

人間世界の善

眞 繼 雲 山

凡人のいふ善悪とは、多くの場合、自分を本位として、己れに都合のよい先方が善であり、己れに都合の悪い相手が悪であり易い。もと／＼人間世界には孤立した絶対の善、絶対の悪といふものはなく、或る單位を假定し、それに比して他が善であり、若しくは悪であるといふに止まる。

たとへば人を殺さんと考ふることは、社會通念としてその考へだけすら悪たるに相違ないが、殺人既遂の犯人に比すれば何程か善人であり、人殺しを考へないものに比して悪人だといふことになる。

離合集散なき政黨員の脱黨を目して、留黨人はその後ろ姿を變節漢と罵るがこれを迎へる反對黨は泥中より脱け來つた高士として歓迎する。世上の善悪とは概ねこの類である。

斯うした浮草の如き善悪を基礎として、地獄極樂を考ふることも、よく幾ばくの價かあらう。

斯く觀じ來るとき、己れを犠牲にして他の爲めに盡へずといふ無我に立つ奉仕以外に、絶対の善なるものなしと考へられるが、左様な骨を碎き身を紛にする燒身供養は、生を目標とする凡夫本具の社會生活と兩立せんこと甚だ至難といふの外はない。

この故に親鸞聖人は小慈小悲はなけれども名利に人師を好むなりとて名譽のために己れを欺き、他を欺く人間の淺ましさを洞破されてゐる。そしてその歸結は

小慈小悲もなき身にても有情利益は思ふまじと内省されてゐることは、實にこれ七百年後の私たちにの深戒である。

然らば私たちは絶対善の道を行べき縁はないかといふに、親鸞聖人は、たゞ念佛の一行のみが諸善萬行にまさる絶対善としての淨土への通路であるとせられた。

絶対善の境界は、無餘涅槃に止住する以外にはないと思はれるが、念佛の一行を絶対善なりとするの意は有漏の穢身に於て、無餘涅槃を思慕し欣求する念佛の一行のうち、小慈小悲もないといふ己れの『まことの姿』を見るとき、その『まことの姿』が淨土に往詣し得べき絶対善に交流してゐるといふのであると思ふ。有漏の穢身のまゝにして無餘涅槃が見つかつたといふことは、現身ながらにして、極樂淨土に安住し得たといふことであつて、これを安心とも、救はれたとも、即得往生とも、住不退轉位ともいふのである。

明智光秀、臨終の遺偈に順遊二門無し、大道心源に徹す、五十四年の夢、覺め來りて一元に歸すと喝破してゐるのは、聖道家にいふ善悪無記といふに歸着する。この一語もとり凡夫の窺知し得べき限りでなく、往々にして誤解を生じ、輕々口外すべきではないが、しかし素と、善悪は無記、因果は不落である故にこそ世上の悪人も亦た懺悔によつて清淨の器となり念佛によつて救はるゝの道があるのである。

悪人が許さるゝとは怪しからぬといふ常識論にも一理窟はあらうが、悪人が救はれないやうなものならば宗教としての價値はない。

自ら罪惡深重と知るところに人間の淺ましい姿を見ることが出来る。その功利的な人間の善惡から離れ得たところに本統の絶対善を歩み得る道がある。

新らしく安い

造花

霊柩自
動車御
用達

町川新町平
屋本橋

電話一六三番

三井

タクシ

電話六八五番

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平南町 (電話一七〇番)

大和田醫院

赤い目
かゆ目
一滴できく

神教水

(新容器入)

平町二丁目 (電話三二六)

堀藥局

兩殿下御買上の

御料 鹽 豚

田町 三二二三屋

電話三二三番

代理店新設

當地方に古き關係の深い而も業績のよい安心の出来る健實なる有隣生命保險株式會社の代理店を受けました。何卒御利用の程を御願ひ致します。

有隣生命保險株式會社

平城北代理店主幹 佐々木龍若
附屬社員 志賀寛

専門

産科 婦人科 花柳病科

◎入院應需

井坂醫院

平町田町 電話五五九番

夏の通學服

夫丈で輕快な

霜降小倉服
値段も下記の廉價提供

小學生用……¥ 0.30
同[特製]……¥ 1.00
中學生用……¥ 1.75



ふかや洋服店 平三〇三

不況對策に

十石取競作

倍の收獲を目的

出來秋注目さる

日本富民協會並に石城郡農會が農家不況の對策として從來田一反歩の收獲五石餘を倍の收獲を目的とする十石取競作には過般郡下より泉村字長子小野長二、草野村字馬目古市喜一の兩氏が選ばれたが右競作最初の田植は明日泉村の小野氏に依つて行はれ古市氏は廿日頃になるが右競作は經費を除外した一反歩の最高收獲高を試験的にふるふので出來秋を注目されて居ると

事務檢閲

けふから開始

既報平警察署の警察事務巡閱は本日午前十時三十三分

多額納稅議員

互選資格者調査

屆出期間は十一日迄

平町役場では本月一日付を以つて貴族院議員多額納稅の互選資格者名簿を調製すべく調査中であるが互選資

軍隊見學の記

第一信

第二師團工兵第二大隊 第一中隊 平商學生見學團

兵營の朝は靜かに明けてカーテンの隙間をもちて來るさわやかな夏の光に軍隊生活初夜の夢よりさめた。上天氣だ！と誰が叫ぶと今迄で寢てゐたと思つてゐた學生達は一齊に話した「やかましい、だまつて寢ろ、起床ラッパの鳴るまでさわやかな夜から寢せんと」なんて貳年兵がどなる、又室は元の静けさに還る、初年兵が起きて鼻をつまんで歩く、笑ひ聲が起る、

平驛着にて到着した巡閱官縣警察部の中村警部、齊藤警部補の一行により直に檢閲を開始したが右は九日迄續行十日には仲里警察部長の來平を待つて講評を受ける筈

一毛作の審査 石城郡草野村農會で豫てより開かれた同村字馬目の農作實行組合の二毛作栽培品評會審査會は明日午前十時より同村小學校に開かれるので郡農會青山技手が審査長として出席すると

職業指導デー

平紹介所の催し

平職業紹介所では来る廿五日より一週間全國一齊に行はれる第二回職業指導デーに際し目下是れが催し物に就いて準備中であるが昨年は各連絡小學校長との打合せ會を行つて居たのみであつたが本年はこの外講演會及び職業指導協議會等を開催すべく計畫中である

平倉庫共同米

平農業者の米共同販賣の入札

は去る五日同所にて行つたが田植時を控へて入札米集らず四等米十四俵を一俵八圓三十二錢の割で平町青木要次郎氏に落札されたが前回より四錢安である

校長と

首席訓導

事務の打合せ

平各小學校長及首席訓導打合せ會は既報の如く昨日午前九時より第一小學校に於ける銀座通りなる東一番町大町國分町方面に行く……赤、青、黄、紫の夜の光に照され、常葉樹は森の都の歡樂を物語つてゐる。カフエー、バー、喫茶店のジャズソングはいやが上にも我々の耳に響いた、又東一番町には夜店が街路の中央に長く……續いてゐたデパートや本屋を覗き込み一寸腹をこしらへ約束通り九時迄西公園に集り整列して歸營した。

者となつて居るが平町に居住し他町村に納稅つゝある者は納付先役場の證明書を本月十二日迄に平町役場に届出られ度いと

て行れたが協議事項は左の如くで全部可決した

一、公開教授を行ふ件 (今月十七、十八の兩日行ふ事に決定)

一、圖書教科書使用に關する件 (本年度より使用する事に決定)

一、學校内規變更の件 (從來一學年一學期の成績は考査したるも本年度より之を欠く事を得と決定)

一、授業時間短縮の件 (來月十二日より三十日迄午前七時半より正午迄と決定)

入山出場選手 磐城中學校及平商業學校剣道部にては既報の如く來る八日舊五月節句入山炭礦剣道部主催にて行はれる剣道大會に出場するが選手は左の如くである

(警中)鈴木至郎 草野大治 高萩光雄 根本馨 中島美夫 和田弘尚 (平商)外村武夫 吉成一 山田定 田中清 郡司重男(補欠)草野忠悟 渡邊新兵衛 山田正直

生徒訓育統一 磐城中學校にては昨日午後一時より職員會を開いた結果各學科主任及び學年主任が中心となり別に協議をなし生徒の訓育方面の統一を計る事になつたと

鈴木教諭出縣 磐城中學校武道部主任鈴木寅之丞氏は本日福島商業學校へ今夏警中に於て開催される縣下中等學校武道大會の打合せに出張した

對抗体育準備 平町各中等學校及び小學校職員の對抗体育大會を開催すべく目下準備中

平町人事 回出生

△南町七〇關根政吉氏長女 キミ子
△彌宜町一〇武藤秀義氏三男 男光男
△立町三七海清明氏二男 敏明
△新川町一四磯崎元之介氏二男 男寛
△長橋町四七榎木信意氏三男 男正

御節句の御祝の

オカヘシには!!!

漆器が一番

漆器は是非専門勉強の共

各國産漆器卸小賣

丸共共榮漆器店

記念表彰品・進物贈答品・恩賜賞典品・賞品景品類 御注文應調製 丸共共榮漆器店 平町一丁目北裏(元郵便局裏通り)

漆器は是非専門勉強の共

仙臺平間に 海水浴客の 列車臨時運轉

浴場附近に假停車場設置

小名濱早くも延長の請願

昨今の不漁續きに悩む石城郡内各濱は夏の避暑客當て込みに一景氣付けんと早くも既に

夏仕度

に取いかゝり海水浴場としての準備を急いで居る折柄仙臺運輸事務所では海水浴客に對する特別サービスとして七月十五日から八月一杯仙臺から平までの

一往復

臨時列車を運轉する旨の吉報が齎らされた、同試みに依ると停車場以外に海水浴場近く假停車場を數ヶ所設けて停車することになり目下適當に假停車場を銜中の由で發着

時間

は、近く發表されるが此の試みを聞いた小名濱にては同列車を植田迄延長され度いと同方部擧つて仙臺に請願する事になつた

平驛の 業態

去月中に

平驛五月中の乗降客数は乗車五萬四千三百六人、降車五萬二千七百七十五人で昨年同期と比較すると乗車が八千四百六十二名、降車が八

千七百十名の減數であるが賃金は遠距離の団体申込が多かつた關係から五百八十八圓四十二錢の増収を見ても居り貨物は發送三千三百一噸、到着一萬一千四十噸で此の收入も發送四千四百三十六圓、到着二千五百圓の増収を見て居る

看護婦が 劇薬で自殺

情人に捨てられ

平町仲町若松病院看護婦石城郡上遠野村宇深山田虎吉四女青天目ウメ(三)は昨六日家事都合と稱して同病院を辭し即日前記上遠野村の實家に歸宅せるが昨夜十時頃家人の寢靜るを待つて多量の昇水水を嚙下苦悶中を家人が発見手當を加へたが今朝三時絶命したと同人は通稱三ツ口と言はれる龜裂を口邊に持つて居た爲め最近情人に棄てられたのを悲感した結果厭世の自殺を遂げたものであると

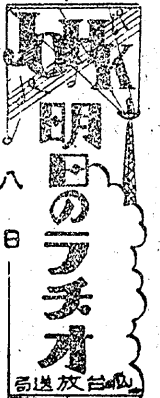
鑑賞室出品

平第二校より

平第二小學校にては既報の如く本縣師範附屬小學校に於ける鑑賞室へ其の鑑賞資料として児童作品を出品すべく準備中の處本日左の生徒作品を出品した

無許可で伐採

石城郡植田町大字小濱字濱農業者丹野與惣次(四)は昨年十一



今晚も明日も北東の風雨模様午後から天氣回復

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
兒童劇「あしたはお節句」
仙臺鬼子母神堂少年少女會
後六、二〇 コドモの新聞
村岡花子
後六、二五 カレントトビ
ツクス、ハロルドパーマ

後七、三〇 講演「獨逸の近情」獨逸駐劄日本大使館一等書記官富井周
後八、〇〇 運動競技 全日本アマチエア拳闘聯盟主催關東決勝戦狀況
後九、〇〇 連續浪花節
「小松風」終席東家左樂遊

梶原フジ 五學年近藤シヅイ 六學年廣澤ハツエ 同阿部トシ子 (高等科)一學年小川キン 同高橋コウ 二學年高岡フヂ 同佐藤道子

衛生部

警城中學校にては從來監督部及教務部なるものを設けてあつたが今回更に衛生部を設け生徒の保健衛生の向上を計る事になつた

ゴキブリ、ホー

鳴物入り宣傳

來る十日は全國的に行はれる時の記念日に當るので平町役場では當日正午を期して各神社寺院の鐘、鼓各工場機關庫の汽笛、消防組の警鐘を一齊に打鳴らす様それ、通牒を發した

登記件數

賣買が多い

平區裁判所登記所に於ける去月中の受理件數は六百六

後九、四〇 全國ニュース
氣象通報 番組豫告

明日の部

前八、〇〇 上海派遣植田第九師團長凱旋狀況
前九、一〇 料理献立「バナ、アイスクリーム」朝倉長吉
前一一、三〇 家庭講座「醫學上から見た化粧品の影響」醫學博士田村一
後一〇、〇五 琵琶「橋大隊」長一大館錦棋
後二、〇〇 家庭大學講座「現代と基督教」塚本虎二

十二件にて四月に比し三十九件増加して居るが賣買が最も多く低當權設定、同抹消、家督相續が此に次ぐと

平區の水曜會

平區裁判所判檢事及辯護士より成る水曜會は明日午後一時より平區裁判所に於て開く

油繪の特別指導

警城高等女學校にては放課後油繪及び水彩畫を酒井教諭が特別指導すべく目下全校生徒より希望者を募つて居る

箱崎上等兵

去月十日遺骨郷里へ三日滿洲道附近で死體を發見された石城郡玉川村出身獨立守備隊第五大隊箱崎光上等兵の遺骨は昨五日午前八時廿分上野驛を發し午後一時三十分湯本驛に到着し直に郷里玉川村に向つたと

後六、〇〇 子供の時間
管絃樂 日本放送交響樂團 指揮篠原正雄 解説 伊藤孝
後六、二〇 コドモの新聞
村岡花子
後六、二五 カレントトビ
ツクス、ハロルドパーマ

後七、三〇 講演「東北地方に多き傳染病に就て」宮城縣衛生課長北條光丸
後八、〇〇 放送舞臺劇「八幡祭小望月」中村福助 中村吉右工門一座

學年主任打合

平町各小學校學年主任打合せ合は來る十七日(尋三)十八日(尋四)の兩回第二小學校に於て開くと

平職業紹介所報告

求人者の部
△農夫 三十以下 委細面談(豊間村某)
△座敷女中 二十前後 尋卒 給料面談(平町某料理店)
△草刈 四十五才 三尺タ
△女中 二十才前後 尋卒 給料面談(平町某商店)

求職の部

△自動車助手 十九才 高卒 給料面談(澤渡村某)
△ロック 三十才 高一修
料給面談(平町某)
△女中 廿六才 尋卒 給料面談(双葉郡大久村某)
△工場雜夫 二十八才 尋卒 給料面談(平町某)

崇禎剣士

【禁轉載上演及映畫】
悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第六十九席 眞庭念流達人櫻井五助

師に代つて手合せ

里見主計は試合に参つた三士に對ひ

主「御覽の如く病中なればお相手をしたす事はなりませぬ、甚だ遺憾にござりませぬ、何れ病氣癒り次第試合を仕るでござらう」

文「ハ、ア左様か、吾々はお取次ぎを以て申入れたる如く上杉の浪人にて拙者は秋田丈助、これなるは藪下兵八、次ぎに居るは長谷部傳藏、何れも神影流の劍法を學び居るもの、先生も御存知の如く只今は天下泰平之が爲に士氣も次第に衰へて未熟者が武藝の指南をいたし居る、羊頭を掲げて狗肉をひさぐとは此事か、それに依て山師の武藝者を打据ゑて懲し遣はし將軍家御膝元にそのやうな者の居らぬやうにいたしたい、これは世の爲でござる、敢て吾々が己れの腕前を示してその技を誇る譯ではござらぬ、是は御膝元を淨めるため、然し先生は名ある御方ゆゑ山師ではござるまい、依てその腕前を拜見いたしたく態々これまで参つたる所御病中とあらば御指し受

ける事もなりませぬ、さりとて此儘空しく立戻るも残念又吾々はこれだけの素養のござるといふ事を御覽に入れたい、そこでこれに居る御門人と手合せをいたしたいが、此事お許し下さ



らば忝く存する」云はれて主計が「イヤ此者は未熟でござります、とても各々方のお相手をいたす事はなりませぬ、先づゆる／＼これにて御休息なされる様、拙者は病中の事ゆゑこれにて御免を蒙る」

と娘に手を執られて病室に引取つてしまつた、スルと内弟子の山路金作が金「皆様が折角お越しなされて此儘お引取りなさるは本意ない事と存じます、未熟者ではござりますが師に代つて手前がお立合申すでござらう」

と云つたはこの三人とて名人ではあるまい、俺も此處で三年稽古してもう此頃目録を取る、さすれば此奴等の中一人は打込むこと出来るであらう、里見の門人に山路ある事を知らしめてくれやうと、そこは若い

き手の内ではござれど、手前も先生に就て茲三年あまり修業いたし居ります、さすればお相手の出来ぬ事もありませぬ、

文「さうか、それではお教へてやらう、手合せをいたすではないぞ、指南をして遣はす」

金「その廣言は後に承はらう」

丈「怒るな、然し怒るほどの勇氣があればよく、物はなるな、どれ玉子を打破つてくれるかな」と云ひながら其處へ出て無難作に竹刀を取つた、山路は之を見て

金「道具をお著けなさい」

丈「白痴た事を申すな、道具を着けるは怪俄をいたさぬ爲だ、勝つと定まり居るこの試合に道具を着けるには及ばぬ、兎を搏つに獅子が全力を用ひるは愚だ」

文「左様か、ソレ兎飛んで見ろ」

山路金作は下段に取つてデリ／＼と詰寄る、秋田丈助はデツと山路の体に眼を著け

と得物を巻落されしまつたと後へ退がらうとした處を踏込んだ秋田がビシ／＼と腰を打つた、ウーンと云つて金作は打仆れたが、やがて起上り落ちた竹刀を取つて打込む、身を交した秋田丈助エイヤツ正面から打込んだ、何に堪りませう右の肩を強かに打たれて横ざまにドウと仆れた、金作又も起き上がらうとしたがもうその氣力が無い、それを見て秋田丈助が

丈「どうだ兎、獅子の力が判り居つたか、ソレ飛ぶ事が出来ぬか」

と云ひつゝ竹刀で金作の頭を押へ付ける。

看護婦急派の求めに應じます

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 胃性 腸病
林 門專 腸虫病 十二指腸病
院醫科 七〇一話電

貸切は●●●
セダン揃ひで
貸切専門の
昭和タクシーへ
電話三四三

外科 X光線科
性病科
外科
平町田町
安齊外科醫院
電話四七五番

金融
銀行員、鐵道員、教員、有給官吏、確實ナ御方ニ貸シマス希望者ハ返信料ヲ添ヘ住所氏名職業金額ヲ明記シ御申込下サ
親切、秘密、迅速ニ融通シマス
常磐線平町舊城跡四十二
常磐商會

うなぎの御用は……
電話五四七番へ
料理 江戸川
平館前通り